

今日も! 田中しんすけの胸を張って、元気よく!!

◆ 福岡市政ドキュメント ◆ 第12号 2010年 春号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ

(民主・市民クラブ)

〒810-0014 福岡市中央区平尾2-15-20 2F

TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221

URL : http://www.tanakashinsuke.jp

E-mail : info@tanakashinsuke.jp

平成22年度
予算委員会

もっと

市民の声を市政に反映するために!

決算・予算関連作業のあるべき姿を提案!

2010年3月19日(金)、田中しんすけは条例予算特別委員会において「市民の声が、より予算編成に反映される仕組みの構築に向けて」質疑を行ないました。決算の結果を予算編成に活かすためには「市民、議会に対する徹底した情報公開」が必要であり、そのために「決算関連作業期間の短縮」、「事業仕分けの際に作成される評価調書の充実」、「予算編成過程の公開」等の施策に取り組むことが重要である点を指摘しました。

「決算作業の前倒し」が、中身の濃い決算審査を可能にする!

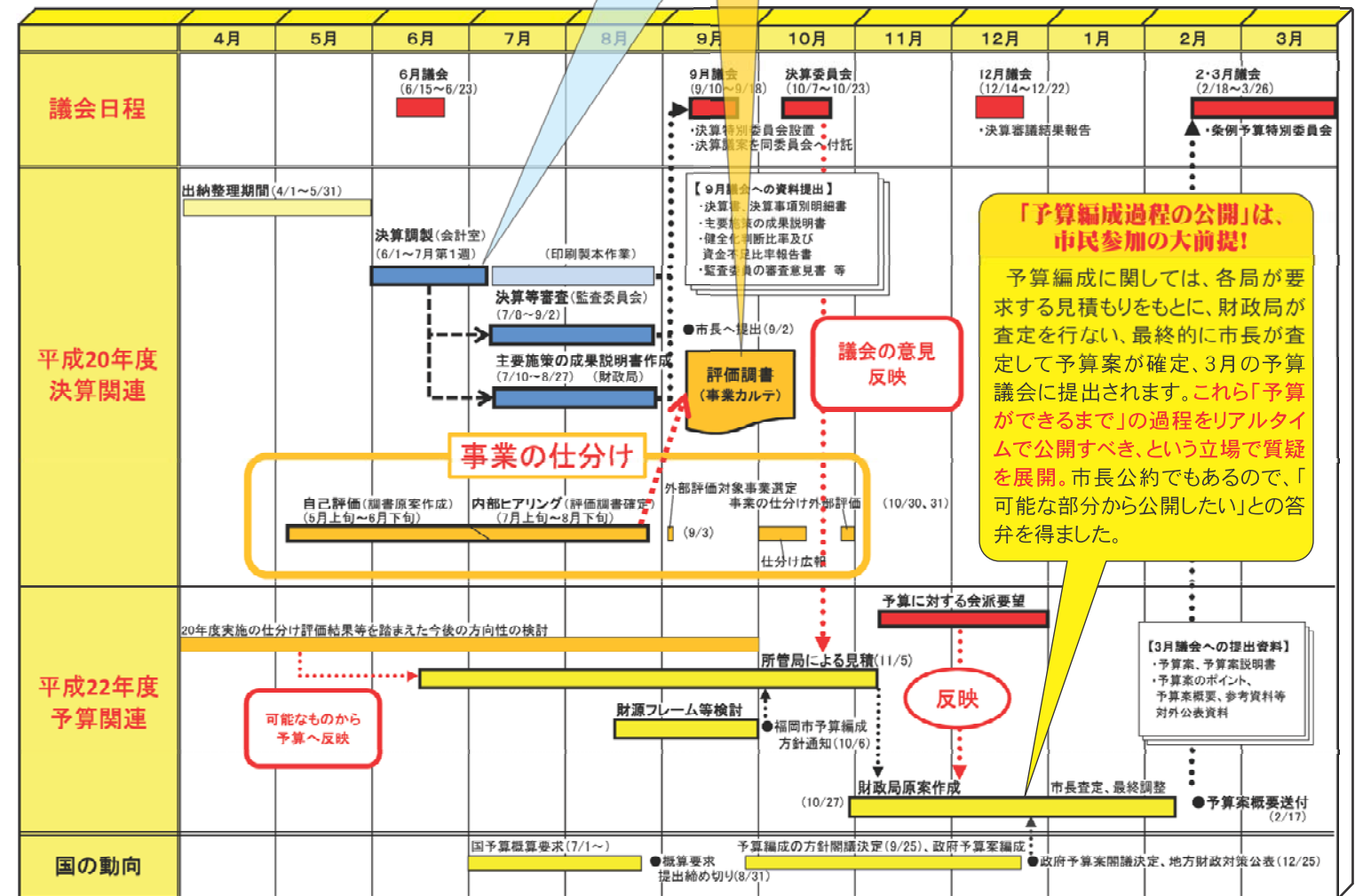
決算審査での議論の結果を次年度の予算編成に活かすためには、通常は10月に開催されている「決算委員会」をできる限り前倒して実施することが重要です。そのために、行政部門が実施する「決算調整」、「監査委員による決算等審査」等の作業期間をどれだけ短縮できるかという点に絞って質疑を展開。それぞれの作業に改善の余地があることを明らかにし、システム導入による業務改善に取り組むべき点を指摘しました。

「事業仕分け」は、「評価調書」充実のために!

福岡市が本格的に実施する「事業仕分け」については、外部評価の結果をどう予算に反映させるかという点も必要ですが、議会の立場から言えば、仕分けの際に資料として提示される「評価調書」にあると考えます。この評価調書を「福岡市事業カルテ」としてデータ化し、議会が設置する決算委員会の開催前にホームページで公開するよう要望。「実現に向けて検討する」と前向きな答弁を得ました。

「予算編成過程の公開」は、市民参加の大前提!

予算編成に関しては、各局が要求する見積りをもとに、財政局が査定を行ない、最終的に市長が査定して予算案が確定、3月の予算議会に提出されます。これら「予算ができるまで」の過程をリアルタイムで公開すべき、という立場で質疑を展開。市長公約でもあるので、「可能な部分から公開したい」との答弁を得ました。



『決算・予算に関する年間スケジュール・平成21年度実績(ヒアリングをもとに田中作成)』



▲製作へのご協力、ありがとうございました!

田中しんすけも積極参加! 平尾商工連合会活動報告

第2回

ひら・ぐら 3号誌発行! ひら・ぐら市場開催!

4月10日に、平尾の地域情報誌「ひら・ぐら」第3号が発行されました。前回の2号誌と比較して、掲載店舗も約30店舗も増え、ますます質の高い情報誌に仕上がっています。今回は、平尾地域にお住まいの方々に「常に携帯して」頂けるよう、電車の時刻表だけでなく、バスのリアルタイム情報を知らせる「QRコード」を取り入れるなど、生活に必要なツールも充実しています。

さらに、今年3月に実施された「平尾山荘・茅葺き屋根の改修」記念式典を契機として、野村望東尼特集も組まれています。今号の製作にあたっては、田中しんすけ事務所のインターン学生も積極的に参加。これまで以上に、記憶に残る「ひら・ぐら」になりそうです。

昨年の秋、参加者のみなさんにご好評頂いた「ひら・ぐら市場」が、今年の春も開催されます。第2回目となる今回の市場でも、野菜の詰め放題や卵のつかみ取りをはじめ、様々な楽しいイベントが盛りだくさんです。新しく平尾で生活を始められたみなさんも、是非「ひら・ぐら市場」へ遊びに来て下さい!!

日時: 4月24日(土) 10:00~
会場: 計量検査所広場(平尾駅前)
お問い合わせ: 平尾商工連合会事務局
TEL: 092-521-9751

インターン学生奮闘記 (第6期生座談会)

大村: 「今までインターンお疲れ様でした。2ヶ月間どうでした?」
 結川: 「最初の面接の時の第一印象、強烈だったよね。安田くんはどうやったん?」
 安田: 「俺、いきなり『君って飽きっぽいの?』って言われた(笑)」
 濱田: 「アハハ。とりあえず強烈だったよね? インターン始まってからはひら・ぐら(地域情報誌)の営業で駆け回ったなあ」
 安田: 「最初は絶対営業無理って思ったけど、終わってみたら結果出てた(喜)」
 結川: 「懐かしいね一営業。プランナー(政策研究)は2チームに分かれてやったよね。最後の最後まで形にならなくて焦ったよ」
 濱田: 「最後の1週間は朝から朝までやってたね(笑)けど、しんすけ議員も付き合ってくれて、本当に面倒見良くなった」
 結川: 「それで、優秀賞取れたから、本当にしんすけ議員のお陰だね」
 濱田: 「あのね、しんすけ議員の深夜テンションはやばいよ。しんすけ議員は議会の質問作り、私たちはプランナー作りで徹夜したんだけど、しんすけ議員、私たちの話に全部、『アハハハ』って笑ってくれたよね。」
 結川: 「オフモードのしんすけ議員はおもしろいよね。よく笑うし」
 安田: 「あと、歩くの速い。めっちゃ速い。いつも走って付いてった(笑)」
 結川: 「移動時間をもっとないならいい。本当に忙しいよ、しんすけ議員は。その中でいつもインターン生のこと気にしてくれてたよ」
 濱田: 「笑顔で元気そうに、『あー!! 疲れたー!!』って事務所に帰ってくる姿が忘れられない」
 結川: 「本当に『胸張る元気』なしんすけ議員だね」
 安田: 「みんな、しんすけ事務所でインターンできて良かったってのは一致してるね」
 全員: 「うん!」

田中しんすけ事務所では、大学の春休みと夏休みにあわせて、インターンシップ大学生を受け入れています。今回受け入れた6期生のみなさんに、インターンシップの感想を聞いてみました!



3月31日(水) 日直小松

平成22年度 予算議会を終えて..

今回の議会で象徴的だったのは、小学校3年生まで入院医療費を無料化する市長の条例案(予算額1億4千万円)に対して、さらに6年生まで無料化を拡大する修正案が自民党から提出され、その修正案が可決されたことです。首長の提出する予算案に対して議会が対案を示すことで、政策論議が深まることは良いことであり、「地方議会の存在意義」が問われる昨今、大変重要な問題提起だと思えます。しかし、ここで議論となったのは「提案するのは良いが、その財源をどうするのか?」という点です。修正案を実現するために必要な財源額は2億9千万円。恒久的な財源をどのように確保するかについては最後まで明確にはなりません。

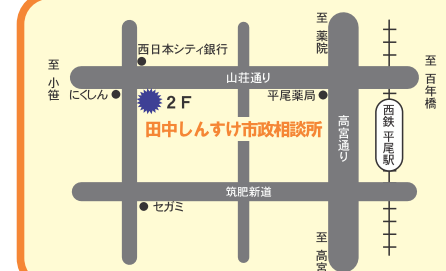


▲首長と議会の間には、更なる緊張感が必要

これからの地方議会には、時代に合わせて「新たに必要政策を提案する」と同時に、「これまで続けてきた政策を見直す(廃止する)」覚悟も求められている、そう考えさせられる予算議会でした。

田中しんすけ市政相談所

☎ 092-521-3650



お気軽にご連絡下さい!!

田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ(31歳)

1991年	西高宮小学校	卒業	2004年	早稲田大学大学院	政治学研究科修士課程 修了
1994年	西南学院中学校	卒業	同年	アクセンチュア株式会社	入社 (旧アンダーセンコンサルティング社)
1997年	筑紫丘高等学校	卒業	2007年	福岡市議会議員	(1期)
2001年	九州大学法学部	卒業			